



## 学校の変化

私は、昭和生まれです。昭和の時代に学校に通い、平成の時代に教員として学校で勤務してきました。そして、今は令和の時代になり、現在も学校で勤務をしていますが、この間に学校は大きく変わってきました。昭和の時代には、今では、想像もできないようなことが普通に学校現場で見られました。一例をあげれば、「土曜日も学校があった」「卒業アルバムに住所を載せていた」「ゴミは焼却炉で燃やしていた」「部活中は水を飲むことに我慢を強いられた」などです。そして、平成の時代となり、「学校週5日制になった」「総合的な学習や小学校でも英語が始まった」「連絡網からメール配信になった」「教室にエアコンが設置された」など時代とともに変化をしてきました。そして、今の1年生から6年生の子たちが通っている令和の時代の学校。「小学校の部活動がなくなる」「小学校では35人学級となる」「1人1台タブレットが配付される」など短い間に大きく変化してきました。学校がここ数年で大きく変わってきているのは、社会全体が急速に変化していることが関係しています。社会の状況が変化すれば、それに合わせて学校現場も変化が求められます。今後も学校の変化は続いていくと思いますが、「子どものためにどうしていくのがよいか」と、いつの時代でも子どもを中心に据えて、変化していくことが大切だと思っています。

## おはなし広場がありました

14日(火)に、おはなしタンポポさんによる1月のおはなし広場がありました。インフルエンザの流行があると実施は控えることとなりますが、八南小は今のところインフルエンザの流行は見られず、予定通り実施することができました。

今回は、「しりとりのだいすきなおうさま」「バムとケロのもりのこや」「英語の絵本」の3つの絵本の読み聞かせをしていただきました。「バムとケロのもりのこや」は、5年2組担任の生田先生が読み聞かせをしました。動画を視聴することに慣れ親しんでいる子どもたちですが、おはなし広場の読み聞かせでは、想像力を働かせながら、熱心にお話を聞くことができました。



## 児童会新聞(「スマイル新聞」)

今年度の児童会では、児童会新聞(「スマイル新聞」)を毎月発行しています。今は、1人1台タブレットが貸し出されていますので、そのタブレットを使ってデジタルな方法で作成しています。児童会役員が交代で作成していて、その時期に沿った話題を取り上げて、記事にしています。



右の写真の左側は、来客玄関前の階段の所にある掲示板の児童会コーナーに貼られたこれまでの新聞です。右側は先月発行された12月号です。写真を見てもらうとわかるように、漢字にはふりがながふってあり、低学年の子も読めるようになっています。また、レイアウトを工夫し、写真やイラストも使って、とても見やすく作られています。

児童会新聞を読むことで、八南小学校の様子を知ることができます。児童会役員の子たちが、毎月、熱心に作ってくれていますので、ぜひ全校の子どもたちに読んでほしいと思います。

